

2019年度通常枠PO育成研修

中国5県休眠預金コンソーシアムで 目指しているもの 【非資金的支援】



2022年6月28日

NPO法人ひろしまNPOセンター 松村

■ お伝えする内容

1. 非資金的支援の成果測定として考えていること
2. 非資金的支援の成果測定の計画でこだわった点、工夫した点
3. 非資金的支援の成果測定の計画で課題、困っている点

1. 非資金的支援の成果測定として考えていること

- 組織診断シートの開発・実施
 - 非資金的支援をメニュー化
 - 事業開始時と完了時の比較
- 伴走支援ログ入力フォームの開発・実施
 - 非資金的支援をメニュー化
 - 担当POが日々の伴走支援を記録

1. 非資金的支援の成果測定として 考えていること（当コンソToC）

【中長期アウトカム】

中国地方において地域や分野の垣根なく様々な課題を見落とすことなく、課題解決プロジェクト化することが可能になっている。また、そのプロジェクトを担う地域のNPOの課題解決力や当コンソ構成団体等の支援力も向上し、多様なステークホルダーを巻き込んだ包括的な体制が生まれている。この包括的な取り組みが積み重なることによって、様々な格差が是正され、住み慣れた地域においてくらし続けることができる中国地方が実現されている。

【指標】

- 当コンソ構成団体の支援を受けて、課題解決につながった事例が積み重ねられている状態
- 多様なステークホルダーを巻き込んだ包括的な支援体制が構築され、その機能が活用されている状態

【短期アウトカム】

資金的支援

【A：組織と事業】

休眠預金の活用によって、実行団体の組織力や事業力がブラッシュアップされ、直接対象グループの格差が改善される仕組みが生まれている。

【B：共感と連携】

実行団体の活動を通じて、実行団体への共感が広がり、ファン（役職員、会員、ボランティア、寄付者、SNS・メルマガ登録者等）や事業パートナー（行政、企業、NPO、自治組織、大学、専門家等）が生まれて（増加して）いる。

【短期アウトカム】

非資金的支援（伴走支援）

【A-a：ガバコン】

実行団体が本事業を通じて、ステークホルダーや社会から信頼される組織基盤を整えている。

【A-b：人材】

実行団体が本事業を通じて、組織および事業の担い手が必要なノウハウを身に付け働いている。

【A-c：広報、連携・協働】

実行団体の活動が社会から共感を得ており、多様なステークホルダーとの連携・協働の取り組みが行われている。

【短期アウトカム】

非資金的支援（環境整備）

【B-a：問題発信】中国地方において優先的に支援すべき課題が実行団体の取り組みを通じて発信されている。

【B-b：人材育成】NPOの活動を包括的に支援することができる人材が活躍している。

【B-c：連携・協働】コンソ構成団体間での人材や情報の共有が日常的な状況になり、協働して課題解決に取り組んでいる。

1. 非資金的支援の成果測定として 考えていること（当コンソToC）

【短期アウトカム】 非資金的支援（伴走支援）

【A-a：ガバコン】

実行団体が本事業を通じて、ステークホルダーや社会から信頼される組織基盤を整えている。

（指標）

- ①実行団体が規程等を整備し、ガバナンスやコンプライアンスを遵守している（規定類の整備状況）について、事業終了時期に実行団体へアンケートを行い5段階評価で測る。
- ②取得を希望する実行団体がJCNEベーシック認証等の第三者評価を受け、取得している状態を確認する。

【A-b：人材】

実行団体が本事業を通じて、組織および事業の担い手が必要なノウハウを身に着け働いている。

（指標）

- ①実行団体の事業の担い手が必要なノウハウを身に着けて働いているかどうかについて、事業終了時期に実行団体へアンケートを行い5段階評価で測る。

【A-c：広報・連携・協働】

実行団体の活動が社会から共感を得ており、多様なステークホルダーとの連携・協働の取り組みが行われている。

（指標）

- ①メディア等の第三者によって発信（テレビ、新聞、雑誌、Web、SNS 等）された件数を測る。
- ②実行団体が参画した連携・協働の取り組み件数を測る。

【短期アウトカム】 非資金的支援（環境整備）

【B-a：問題発信】中国地方において優先的に支援すべき課題が実行団体の取り組みを通じて発信されている。

（評価）

- ①中国5県コンソfacebookページへのいいね数、コメント数 等を測る。
- ②実行団体および資金分配団体の取り組みが第三者の目線を入れた事業報告書としてまとめられているかを測る。

【B-b：人材育成】NPOの活動を包括的に支援することができる人材が活躍している。

（評価）

- ①POとして十分に活動できている人材の人数を運営委員会において測る。

【B-c：連携・協働】コンソ構成団体間での人材や情報の共有が日常的な状況になり、協働して課題解決に取り組んでいる。

（評価）

- ①組織の垣根を越えた人材交流（他県POのサポート、POMTG、評価MTG、運営委員会、合同研修 等）の件数を測る。

2. 非資金的支援の成果測定の計画でこだわった点、工夫した点

- 非資金的支援のメニュー化
 - 組織診断、伴走支援、各種報告等において、非資金的支援を自由記述的に扱うことをやめて、メニュー化
 - メニューであって、マニュアルではない。目次をつける程度のイメージ
 - アウトプットはこれで測りやすくなる
 - アウトカムはもとより何をやったではなく、実行団体が組織力や事業力がブラッシュアップされたかどうか。⇒最後にアンケートやヒアリングで確認することでわかる。
- 余計な仕事を増やさない
 - 実行団体にも、担当POにもできる限り負担をかけない方法を模索
 - 作文はつらい
 - つらいと続かない
 - 続かないと蓄積されない
 - フォームを使って、携帯からでも1分で入力完了（を目指した）。

[illegible]

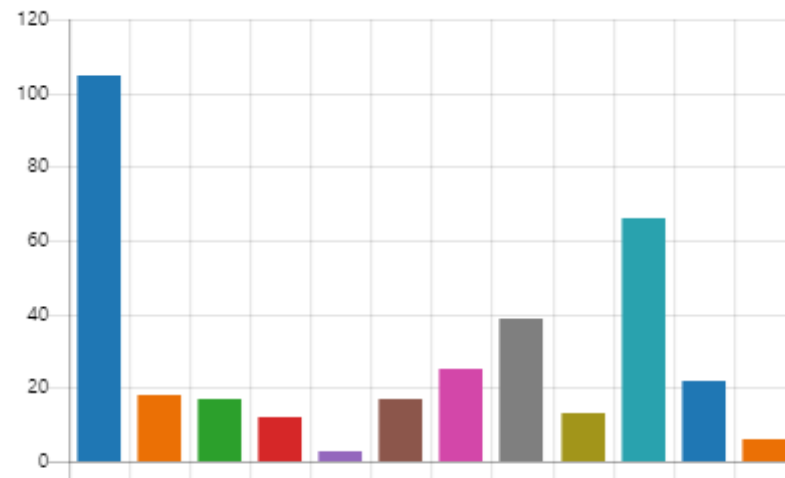
この項目が、伴走支援メニューと
リンクしている

2. 非資金的支援の成果測定の計画で こだわった点、工夫した点（伴走支援ログ入力フォーム）

13. 支援メニュー_個別支援

詳細

● 【共通】計画策定支援	105
● 【共通】規定類整備	18
● 【共通】組織診断	17
● ①ミッション・ビジョン	12
● ②ガバナンス	3
● ③財務・資金調達	17
● ④人材	25
● ⑤事業運営	39
● ⑥連携・協働	13
● ⑦評価・報告	66
● ⑧広報・マーケティング	22
● その他	6



- ツールはFormsを利用（当コンソでは情報共有にTeamsを利用）
- アウトプットとして測定するので、伴走支援として取り組んだことをとにかくログに残す
- ログに残すことが重要なので、入力の手間を減らすことを重視（1回答に1分以内目標）
- アウトカムは、事業終了時に実行団体にアンケート（私たちの伴走支援、役に立ちましたか？）

3. 非資金的支援の成果測定の計画で課題、困っている点

- そもそものところ。この計画でいいのか？指標でいいのか？
 - 初めてのころより前に進んだ自信はあるけど
 - この先に目指すゴールはあるのかな？はいつでも不安
- その成果は、私たちのおかげ？
 - 実行団体さんが独自に頑張ったからでは？
 - 休眠預金以外のリソースも活かしたからでは？
 - 休眠預金側からは、いかに休眠預金が役立ったかを知りたい
 - 現場はそんなことよりも現場だ！